

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	CYセルジー・パリ大学	氏名	
国名	フランス	学籍番号	
留学期間	2021年 9月 ~ 2022年 6月	記入年月日	2022年 7月 7日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 外国語(英語-フランス語、日本語-フランス語間の翻訳)			
科目名	CM Civilisation japonaise (日本の文明化)	科目名	TD Pratique de la langue orale-Anglais(英語スピーキング)
授業内容	日本の歴史(縄文時代~近代まで)と地理を学ぶ。11回の授業の内容のうち、8割くらいは歴史だった。	授業内容	英語のスピーキング力向上を目指す授業。一学期に二回テストがあった。一回目は個人課題で英語でのインターン模擬面接、二回目はグループ課題で専門分野の研究発表をした。
授業形式	講義	授業形式	実技
単位数	2.5	単位数	2
サイズ	11時間	サイズ	11時間
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	宿題はないが復習をするべき	宿題の量	授業の前に、一週間前に課された英語の文献を読んでおく(各回10~50ページ程)
コメント	ほとんどは日本の中学校で学ぶ内容と被っている。しかし、授業の使用言語はすべてフランス語だったこと、パワーポイントの文字が少なかったことから、ノートをとるのが大変だった。	コメント	宿題の量が多く、テストの内容も重いので準備するのにかかり苦労した。周りの学生の英語のレベルは様々だが、全体的にレベルが高かったのについていくのに苦労した。
科目名	TD Histoire et géographie du Japon(日本の地理と歴史)	科目名	CM Histoire et géographie du Japon(日本の地理と歴史)
授業内容	授業名は「日本の歴史と地理」となっているが実際には歴史のみ。日本の近代化に関する歴史的な文章を日本語からフランス語に翻訳する。	授業内容	授業名は「日本の歴史と地理」となっているが実際には歴史のみ。日本の近代化について学ぶ。
授業形式	実技	授業形式	講義
単位数	2	単位数	2
サイズ	11時間	サイズ	11時間
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	次回の授業で扱う日本語の文章を翻訳してくる	宿題の量	宿題はないが復習をするべき
コメント	歴史分野のフランス語を覚えるのがやや難しかった。しかし、テストには授業で扱った文章と、授業で習った表現を使った初見問題しかないので、テキストの予習復習をしっかりしておけば試験もそれほど難しくはない。	コメント	授業の使用言語がフランス語であること、毎回の授業で扱われる内容が膨大であることから復習が大変であった。テスト前に困らないように計画的な復習するべき。

科目名	CM Développement durable(持続可能な開発)	科目名	TD Traduction spécialisée-Japonais (日本語の翻訳)
授業内容	持続可能な社会の実現のため、どんなことが行われてきたか、どのような方向に向かうべきかを検討する。	授業内容	日本語学習者用のテキストを使って、日本語の文章をフランス語に翻訳する。
授業形式	講義	授業形式	実技
単位数	1	単位数	2
サイズ	11	サイズ	11
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	比較的易しい
宿題の量	宿題はないが復習をするべき	宿題の量	次回の授業で扱う文章をフランス語に翻訳する。漢字テストの勉強をする。
コメント	環境問題の基礎知識がなく、授業の使用言語がフランス語であったため、授業内で理解することが難しかった。パワーポイントはかなり情報量が多かったので、復習の段階で内容を読み解いたり、関連する事象を調べたりしてインプットした。	コメント	日本語を外国語として学ぶ学生の中に混ざって授業を受けるので、外国人にとって日本語がどのように理解されるのか、どういった点が特徴的なのかを知ることができた。
科目名	CLF Communication A2	科目名	CLF Compréhension et production orales et écrites A2
授業内容	フランス語のスピーキング能力向上を目指す。	授業内容	フランス語の4技能(スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング)の向上を目指す。
授業形式	実技	授業形式	実技
単位数	他のフランス語の授業と合算して6	単位数	他のフランス語の授業と合算して6
サイズ	11	サイズ	11
難易度 Course No.	比較的易しい	難易度 Course No.	比較的易しい
宿題の量	作文を書いてくる。	宿題の量	作文を書いてくる。文法の問題を解いてくる。
コメント	日常(レストラン、薬局、駅など)で使うフランス語の表現を学んだ。授業内でアウトプットする機会が多くあった。発音はそれほど重視されていないなかったが、文法を間違えて話していると、正しいフランス語に直される。	コメント	Communicationと同じレベルのクラスに入らなければならない。最初の授業にクラス分けテストがあり、その結果によってクラスが決まるが、同じクラスの中にもレベルの幅がかなりあるので、授業を受けていて自分のレベルに合っていないと感じたら担当教員に相談したほうが良い。
科目名	CLF Cours intensif A2&B1	科目名	CLF Phonétique
授業内容	上記2つの授業に加え、もっとフランス語を伸ばしたいという人向けの授業。	授業内容	フランス語の発音の向上を目指す。
授業形式	実技	授業形式	実技
単位数	他のフランス語の授業と合算して6	単位数	他のフランス語の授業と合算して6
サイズ	11	サイズ	11
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	文法問題と会話表現のプリントを解いてくる。	宿題の量	なし
コメント	フランス生活でとても役立つ表現や、フランス人の文化などを学んだ。B1のレベルの学生と一緒にグループワークを行う機会があり、良い刺激になった。	コメント	フランス語の特徴的な音の発音方法や、発音規則を学んだ。日本語とはアクセントが大きく異なるので、フランス語らしいアクセントに近づけるのが難しかった。

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>フランスは硬水なので日本のように毎日顔を水で洗ったり、水道水を飲んだりするのは控えた。また、フランスの風邪薬や痛み止め、花粉症の薬は自分に合ったものを見つけるのが大変なので日本のものを持参するほうが良いと思った。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、フランス語能力の向上と、フランスから見た日本の姿という学びを得た。セルジーのフランス語の授業はすべてフランス語で行われるため、身につく速度が速かった。日本の文化や歴史についての授業を通して、日本での日本史の教え方との違いを発見し、外国の視点から日本はどのように映るのかを知ることができた。精神面では、言語も文化も違う環境で、「外国人」がぶつかる様々な問題を体験したので、アクシデントに動じず対応できる力が身に着いたと思う。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>研究テーマは留学前と大きくは変わっていないが、留学中に得た視点を少し加えて卒業論文を執筆する。卒業後はコンサルタント業界に就職したいと考えている。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>コロナ禍で1年延期したが、津田に入学した当初から留学することが目標だったため、自分から辞退することはなかった。そして、昨年度後期に渡航できることになり、留学が叶った。あきらめず努力を続けていれば必ずチャンスは巡ってくると考えている。「留学」に対し不安やわからないことがあったとしても、留学したいという強い思いがあるのであれば、挑戦してみしてほしい。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>フランス留学やCYセルジー・パリ大学に興味があり、話を聞いてみたいという方がいらっしゃればぜひご連絡ください。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する (写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。